



それぞれの世帯でさまざまな課題が生じています。  
まちの被害状況や復興のポイントを考慮して考えて  
みましょう！

**ワークシート①：被災後の「住まい」の復興を考えよう！**

あなたは葛飾町地区在住の「東京さん」です（設定）。被災後、仮住まいや自宅の再建はどのようにしますか？  
またその選択をした理由は何ですか？状況付与に応じて、住まいの再建の方法を選択・チェックし、その理由を書いてみましょう！

Q1. 東京さんにはどのような「住まいの復興」が必要だと思いますか？

災害応急対策		復旧			復興		
緊急対応期	避難生活期	応急復旧期	応急復旧期	復興準備期	復興始動期	復興本格期	
発災直後～1週間	～2週間	～1か月	2か月	～4か月	～6か月	2年～	

自分の建物が健全であっても、隣家が倒壊してくる可能性があるなど、周囲の状況によっては「危険（赤色）」と判定されることもあります。

応急仮設住宅の入居申請をしても、希望者が多い場合、入居できない場合もあります。

Q2. 被害状況から見てどこで避難生活をしますか？

避難所

福祉避難所

在宅避難

その他

(  親戚・知人宅  賃貸住宅  ホテル  その他 \_\_\_\_\_ )

Q3. どこで仮住まいを過ごしますか？

応急仮設住宅

(  建設型  福祉仮設  賃貸型(みなし仮設) )

在宅避難

応急修理を実施した自宅

その他

(  親戚・知人宅  賃貸住宅  ホテル  その他 \_\_\_\_\_ )

Q4. どのように住まいの再建をしますか？

持ち家・マンションを建設・購入

(  地区内  地区外 )

持ち家・マンションを改修

賃貸住宅に入居

(  地区内  地区外 )

災害公営住宅入居

その他 \_\_\_\_\_

日常生活に必要な部分を緊急に修理する際、被災住宅の応急修理制度を利用できる場合があります！

応急修理の期間が1か月を超える場合で、自宅が半壊(住居として利用できない場合)以上の被害を受け、仮住まいの確保が困難な場合は6か月の期限付きで応急仮設住宅の入居ができるようになりました。

応急仮設住宅での生活は2年です。そのため、住まいの再建を2か月目くらいから具体化していく必要があります。

**住宅の再建を検討した結果から普段からできる取り組みをチェックしてみましょう！**

耐震診断・耐震補強

地震保険への加入

耐火性の高い建物への改修

その他

( \_\_\_\_\_ )

**Q2 選択の理由と条件**

**Q3 選択の理由と条件**

**Q4 選択の理由と条件**

**課題**

**課題**

**課題**

# ワークシート②：被災後の「都市」の復興を考えよう！

あなたは柴又地区中町会会長です（設定）。

「都市」の復興時に起こる地域の課題を町会長の立場で考え、当てはまるものにチェックをして、選択した理由とその時生じる課題を考えてみましょう！

災害応急対策		復旧		復興		
緊急対応期	避難生活期	応急復旧期	復興準備期	復興始動期	復興本格期	
発災直後 ～1週間	～2週間	～1か月	2か月	～4か月	～6か月	2年～

  

避難

**STEP1** 被災生活支援連絡会の立ち上げ

被災生活支援連絡会でまちの復興の提案の有無を検討したうえで体制づくりを行います！

**STEP2** 被災生活支援連絡会の体制拡充

**STEP2** 都市復興の体制づくり

**STEP3** 被災生活支援連絡会の活動（被害が大きく復興まちづくりが必要な地区では「地域復興協議会」を立ち上げ、活動を移行する）

**STEP3** 復興まちづくり方針の検討

Q1. 柴又地区の復興ではどのようなことを重視するべきだと思いますか？

1. 安心できる住まいの確保 ・ ・ 応急仮設住宅への入居支援/時限的市街地の確保
2. 安全・安心な市街地の再生 ・ ・ 木造住宅密集市街地の解消/水害に強いまち/液状化対策 等
3. 公園の整備・拡充 ・ ・ 緑道 ・ 水路を生かした公園の整備/防災活動拠点となる公園を計画 等
4. 道路ネットワークの構築 ・ ・ 歩行者が利用しやすい道路の整備/消防車が通れる道路の計画 等
5. 魅力ある商業拠点、商店街の形成 ・ ・ 駅周辺の再開発/商店街の早期の再生とにぎわい
6. 若者も高齢者も住みやすいまちの形成 ・ ・ 若年層の定住に向けた取組み/歩きやすい道路の形成
7. その他（ ）

【理由】

**STEP4** 時限的市街地の形成・運営

Q2. 復興までに必要だと思う都市機能はどのようなものがあると思いますか？

- 仮設の店舗
- 仮設の集会施設
- 福祉仮設住宅
- 仮設の工場、作業所
- その他（ ）

【理由】

**STEP5** 復興まちづくり事業の実施

**STEP1** 被害の把握

《地域復興協議会が設立されない場合》  
重点復興地区を中心に、区が復興まちづくり計画を策定します。その他の地区においては、主に被災者個人による復興に対して、支援を行っていきます。

Q3. 復興に向けて「普段からできること・できそうなこと」にはどんなことがあると思いますか？

柴又地区の被災前の状況や被災状況、地域の魅力を考慮して、選んでみましょう！被災を繰り返さず、迅速な復興を遂げるためには柴又地区ではどのようなことが重要になってくると思いますか？

